



明石市立
文化博物館

文化博物館だより 第190号

2007年9月28日

みなさん、こんにちは。小学校の校庭から運動会の応援歌の練習の声が聞こえてきます。暑い暑いと言いながらも、もうすぐ10月。体育の日が近づいてきました。

● 尺八ってそうなんだ！

9月24日(祝) ロビーに呈茶席が設けられ、琴と尺八の音色が流れる、雅を楽しむイベントが催されました。今回は演奏の後にオーディエンスの方々から質問を受け付けました。「尺八を何本も持ち替えていたがその違いは」という質問に対し「尺八の長さが違うと音の高さが変わります」と、何本も吹き比べてくださいました。尺八の長さが変わると穴の間隔が変わるので指の開きに注意が必要と、尺八ならではの苦労話も。またシとミの指遣いは同じで、指でなくあごの角度で音を変えるのだそうです。

お茶席では小学生の姉弟も仲良くお茶を楽しんでいました。弟くんが和菓子を手で持って食べていると、お姉ちゃんが「お行儀が悪い」を注意するほほえましい場面も見られました。



明石三曲協会双葉会のみなさん

● 明石の君の登場です

中秋の名月を目前にした9月23日(日) 須磨離宮公園において「第20回須磨離宮月見の宴」が行われました。これは在原行平が稲葉山(現離宮公園内)で月見をした故事にちなんで毎年行われているものです。文博ボランティアの着付けグループの方にご協力いただき、明石の君が華やかな十二単姿で登場しました。当日は地唄舞の披露や和服ファッションショーなどもあり、秋の夕べを彩りました。



今年の月は一段と美しかったですね。みなさん、お団子を片手にお月見されましたか？